

監 査 第 7 号
令和5年 2月27日

上 里 町 長
上里町議会議長
上里町教育長
上里町選挙管理委員長
上里町公平委員長
上里町農業委員会会長

様

川 浦 計 男
上里町監査委員
新 井 實

令和4年度定例監査の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第199条第4項及び、上里町監査委員に関する条例（昭和41年上里町条例第23号）第4条の規定による、令和4年度定例監査を実施したので、同法第199条第9項の規定により、監査の結果について報告します。

写

令和4年度

定例監査報告書

上里町監査委員

1. 令和4年度定例監査日程

令和4年2月1日（水）～2月15日（水） 8日間

2. 監査の主眼

- (1) 町の財務に関する事務執行が、適正かつ効率的に行われているか。
- (2) 町の経営に係る事務管理が、合理的かつ効率的に行われているか。
- (3) 必要に応じ、町の事務事業の執行に係る工事について、当該工事の設計、施工等が適正におこなわれているかどうか。また、建築物等の維持管理が良好であるか等を主眼として実施した。

3. 監査の方法

提出された監査資料に基づき、監査委員、補助職員による提出書類の確認を行い、必要に応じて確認書類の提出を求め、当日は、関係職員による主要な事業に関する説明を求め、説明及び提出書類に関する、監査委員からの質疑に回答する形式で監査を実施した。

4. 監査資料

- ・職員名簿
- ・各課等事業概況書
- ・主要事業実施状況
- ・歳入歳出計算書（12月末まで）
- ・その他監査委員から指示のあったもの

5. 監査の結果

監査の結果、各課（局）等とも、上里町事務分掌規則に従い、事務事業の執行及び財務処理は適正に処理されているものと認められた。

(1) 歳入について

一般会計における12月末現在の歳入の執行状況について、予算現額123億4,711万4,948円に対し、収入済額は81億522万3,234円で、収入割合は65.64%となっている。新型コロナウイルス感染症の影響による財政支援策に加え、物価高騰対策への支援、公共施設の老朽化に伴う更新や膨らみ続ける社会保障費等により、財政需要は今後も増加の一途をたどると予想される。

町税等の自主財源を確実に確保するにあたっては、公平性を原則として、収納率の向上に引き続き努めていただくようお願いしたい。

また、町の実施事業にあたっては、国や県の補助金の活用を十分に検討するとともに、新たな地方債発行に関しては交付税への算入率の大きい有益性の高い地方債の厳選に努めていただくようお願いしたい。

(2) 歳出について

一般会計における12月末現在の歳出の執行状況について、支出額は63億5,843万8,969円で、執行率は51.50%となっている。

事業実施時期などの理由で、執行率が低いものも見受けられるが、第5次上里町総合振興計画などの計画に基づき、経常経費削減と合理化を図りながら適正に執行されている。

今後は「公共施設維持保全計画」に基づき、各施設の統廃合・複合化、保健センター等複合施設の計画も本格化してきている。また駅北まちづくり事業における基本計画も進み、ひと・まち・駅をつなぐまちづくりに期待したい。

(3) 財政援助団体等監査について

地方自治法第199条第7項の規定により、町が補助金等の財政的援助を行っている団体が、目的に沿って適正かつ効果的に運営をされているかどうかを監査するものであり、今回は「上里町立図書館」について監査を実施した。

財政援助団体等監査の報告については、関係団体宛て報告書を提出した。

(4) 監査における指摘事項、今後の主な課題

① 各事業の実施にあたっては、費用対効果を常に意識し、よりよいサービスとして住民に還元できるよう努めていただきたい。

② 税率の改定や、料金の改定が生じる場合など住民の負担に影響が生じる事柄については、十分な理解が得られるよう引き続き丁寧な説明をお願いしたい。

- ③ 災害等の対応にあたっては、非常時において各種団体や住民の協力が得られるよう、平常時から連絡を密にし、「自助・共助・公助」がバランスよく機能するよう研修や訓練を通じて備えを万全にしていきたい。
- ④ 公共施設維持保全計画に基づき実施されている、公共施設の老朽化対策については、施設の状況により計画を前倒しする必要がある場合などにおいては計画を見直し更新や統廃合を進めていきたい。また、施設の改築、増築にあたっては住民がさらに利用しやすい施設となるよう期待したい。
- ⑤ 道路整備やまちづくり計画については、住民の利便性・安全性とともに、将来を見据えた長期的な視野に立ち、将来にわたって町に賑わいをもたらし、生き生きとした町となるような計画を期待したい。

(5) 結び

令和4年度はコロナ感染防止策の継続と社会経済活動の両立が進み、イベント等も再開されるなど、コロナで疲弊しきっていた社会が一部明るさを取り戻しつつあるように感じられた。一方でロシアのウクライナ侵攻等に起因する資源・原材料高や急激な円安による物価高騰等に翻弄される一年であった。

上里町では6月に発生した降雹により多くの被害が発生し、自然災害の恐ろしさを改めて実感した年でもあった。

社会活動の正常化が見込まれるものの依然として不透明な社会情勢の中、町長をはじめ副町長、教育長、各課（局）長等職員の方々においては、感染症対策にも留意しながら日々業務に努力され、また災害等への対応においては素早い対応に力を尽くしていただいたことに対し敬意を表する。

町民のさらなる福祉・生活の向上、また安心・安全な暮らしを守りながら、「選ばれる町・住み続けたい町」の実現を目指し、今後も適正な事務の執行と安定した行財政運営に努められるようお願いしたい。